

県民の政治意識 第49回モニター調査 報告書

(2020年1月23日～2月5日調査)

I	目的・設計	1
II	調査結果 概要	4
	◆ クロス集計	20
	◆ 記述回答	41
	◆ 単純集計	52
III	調査票	54



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 目的・設計

◆目的

安倍晋三首相は、歴代最長の通算在職日数記録を更新する一方、来年9月には自民党総裁3期目の任期満了を迎えます。通常国会の焦点となった「桜を見る会」や統合型リゾート施設（IR）整備、海上自衛隊の中東派遣など山積する問題は、どう受け止められているのか。消費税増税に対する評価や首相の党総裁4選への賛否なども含め、県民の政治意識を探ります。

長野県世論調査協会は、登録モニターを対象に、年2回程度、定例の世論調査を実施しており、今回は49回目となります。

※モニター調査は、定例調査と、国政選挙の情勢変化等を追う連続調査を実施している

◆設計

▽調査対象 長野県世論調査協会に登録しているモニター553人
※性別や年代別、選挙区別の比率が長野県の縮図に近づくよう選定している

▽調査方法 調査票を郵送。回収は、郵送の他、ファクス、インターネット、電話による聞き取り

▽調査時期 2020年1月23日調査票発送～2月5日回収締め切り

▽有効回答 531人（男性253人 女性278人） 回答率96.0%

[回収方法別の内訳]（ ）内は比率

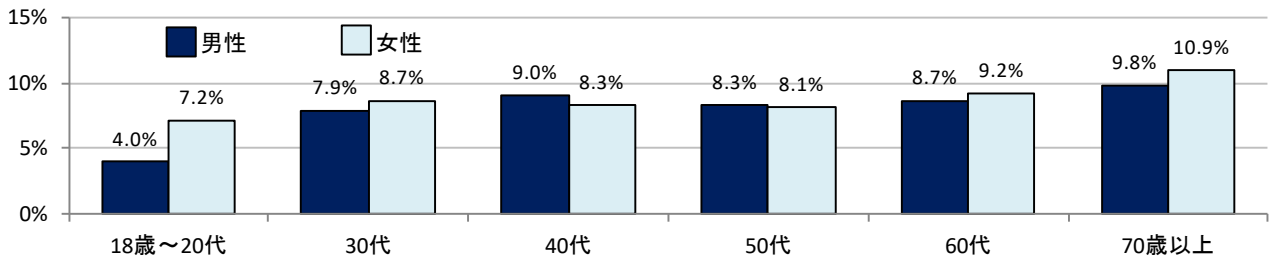
郵送	308人（58.0%）
ファクス	104人（19.6%）
インターネット	113人（21.3%）
電話による聞き取り	6人（1.1%）

【注】報告書のパーセント数字は原則、小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。
見出しのみ小数点第1位を四捨五入

有効回答の内訳

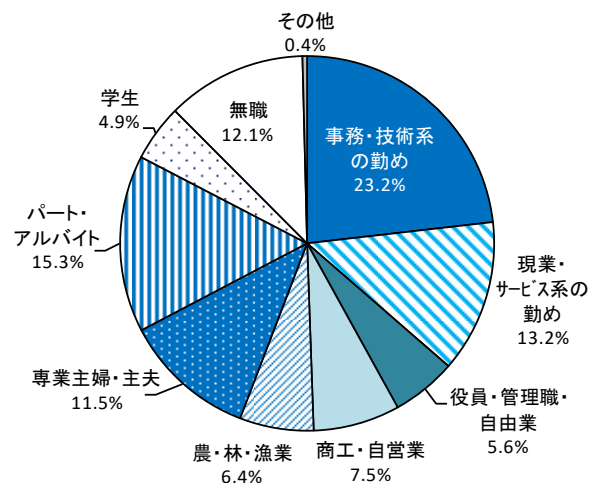
【性別と年代】

	合計	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	531	59	88	92	87	95	110
	100.0%	11.1%	16.6%	17.3%	16.4%	17.9%	20.7%
男性	253	21	42	48	44	46	52
	47.6%	4.0%	7.9%	9.0%	8.3%	8.7%	9.8%
女性	278	38	46	44	43	49	58
	52.4%	7.2%	8.7%	8.3%	8.1%	9.2%	10.9%



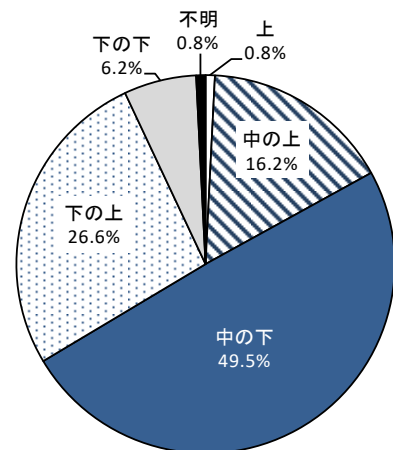
【職業】

事務・技術系の勤め	123	23.2%
現業・サービス系の勤め	70	13.2%
役員・管理職・自由業	30	5.6%
商工・自営業	40	7.5%
農・林・漁業	34	6.4%
専業主婦・主夫	61	11.5%
パート・アルバイト	81	15.3%
学生	26	4.9%
無職	64	12.1%
その他	2	0.4%
全体	531	100.0%



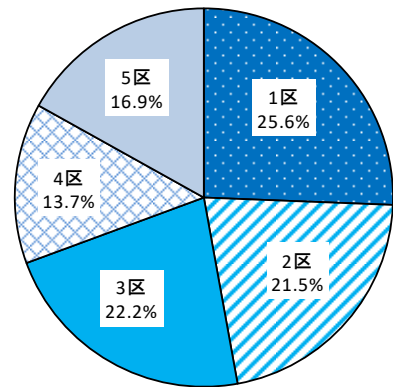
【暮らしぶり】

上	4	0.8%
中の上	86	16.2%
中の下	263	49.5%
下の上	141	26.6%
下の下	33	6.2%
不明	4	0.8%
全体	531	100.0%



【衆院小選挙区】

1区	136	25.6%
2区	114	21.5%
3区	118	22.2%
4区	73	13.7%
5区	90	16.9%
全体	531	100.0%



Ⅱ 調査結果 概要

有効回答 531 人

安倍内閣支持率

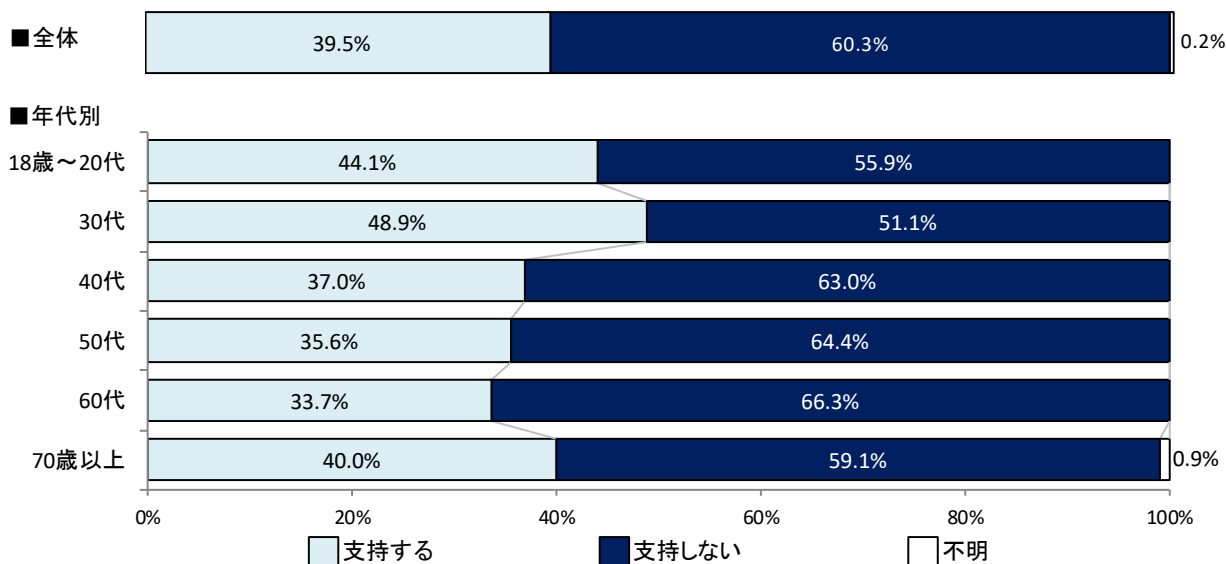
問1 あなたは、安倍内閣を支持しますか

◆支持 40% 不支持 60%

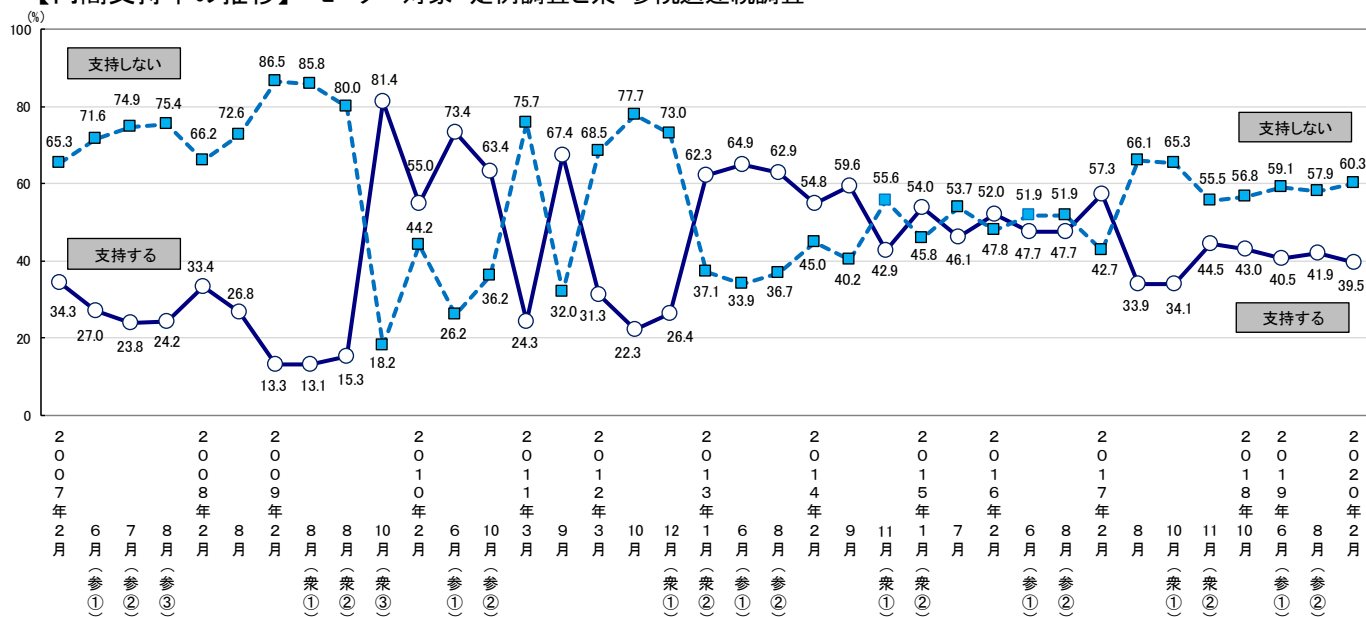
クロス集計 20 ページ

支持率は 39.5% で 2019 年 8 月の前回調査に比べ 2.4 ポイント減。不支持率は 60.3% と 2.4 ポイント増え、60% 台は 2017 年 10 月の調査以来。首相主催の「桜を見る会」問題などが注目される中、差がわずかに広がった。

本調査では 7 回連続で不支持が支持を上回った。年代別にみると、不支持率は 60 代が 66.3% で最高。職業別では、無職が 75.0% と最も高く、次いで商工・自営業の 67.5%。専業主婦・主夫は支持、不支持とも 49.2% で同率だった。



【内閣支持率の推移】 モニター対象 定例調査と衆・参院選連続調査



安倍内閣	福田内閣	麻生内閣	鳩山内閣	菅内閣	野田内閣	安倍内閣
------	------	------	------	-----	------	------

※「衆①」は衆院選、「参①」は参院選のそれぞれ連続調査第1回。連続調査の第1回は公示前、最終回は定例調査を兼ね選挙後に実施している。他は定例調査。
※調査期間が月をまたいだ場合、実施の月は期間最終日の月。

問2 (問1で「支持する」とお答えの方にお尋ねします)

支持する理由は何ですか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください

◆支持理由 「ほかに適当な人がいない」 61%

クロス集計 21 ページ

「ほかに適当な人がいないから」との消極的理由が前回 2019 年 8 月調査より 5.7 ポイント増の 60.5%で最多。次いで「自民党中心の内閣だから」が 40.5%。その他は2割に満たず、「首相の政治姿勢・手法が好ましいから」は 13.8%にとどまった。

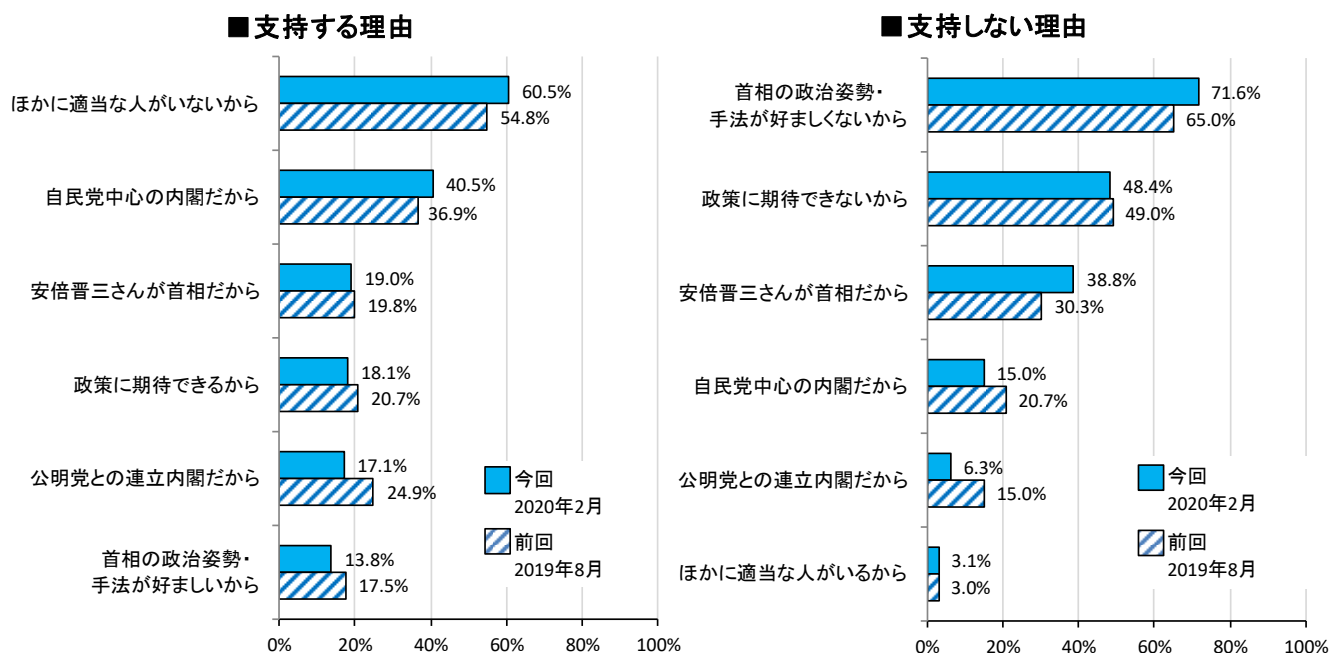
問3 (問1で「支持しない」と答えた方にお尋ねします)

支持しない理由は何ですか。次の中から2つ以内に絞ってお答えください

◆不支持理由 「首相の政治姿勢・手法が好ましくない」 72%

クロス集計 22 ページ

「首相の政治姿勢・手法が好ましくないから」が前回比 6.6 ポイント増の 71.6%と最も多く、「政策に期待できないから」が 48.4%。「安倍晋三さんが首相だから」が 38.8%で、前回より 8.5 ポイント増えた。



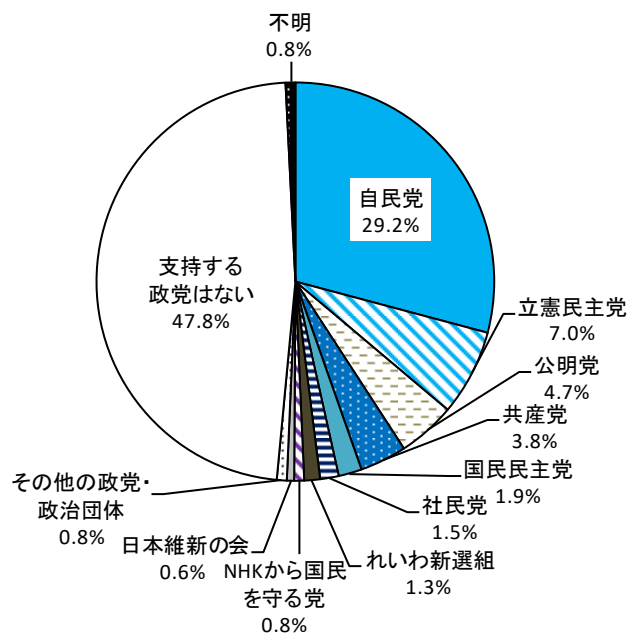
支持政党

問4 あなたは、どの政党を支持していますか

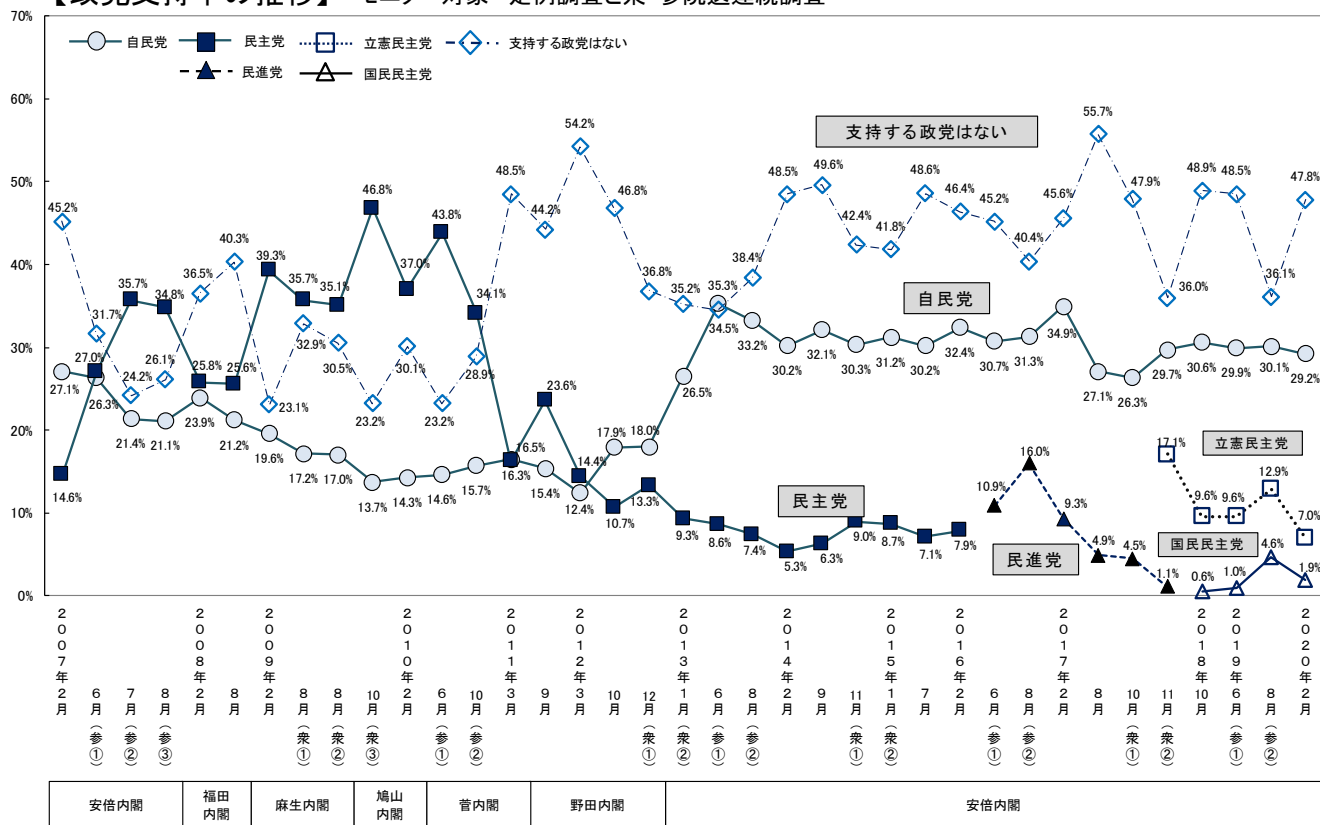
◆自民 横ばい 29% 支持なし 12 ポイント増 48%

自民党支持が 29.2% で、参院選後の 2019 年 8 月に行った前回調査に比べ 0.9 ポイント減ではほぼ横ばい。これに対し、野党第 1 党の立憲民主党は 5.9 ポイント減の 7.0% で、国民民主党は 2.7 ポイント減の 1.9%。合流協議が難航した両党が支持率を下げ、「支持する政党はない」無党派層が 11.7 ポイント増の 47.8% だった。

クロス集計 23 ページ



【政党支持率の推移】 モニター対象 定例調査と衆・参院選連続調査

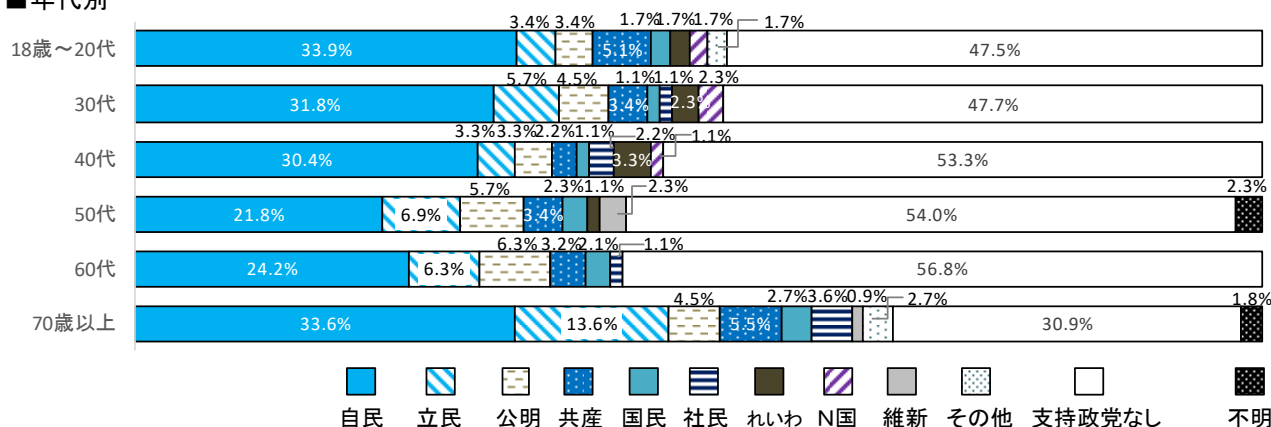


※「衆①」は衆院選、「参①」は参院選のそれぞれ連続調査第1回。連続調査の第1回は公示前、最終回は定例調査を兼ね選挙後に実施している。他は定例調査。
※調査期間が月をまたいだ場合、実施の月は期間最終日の月。

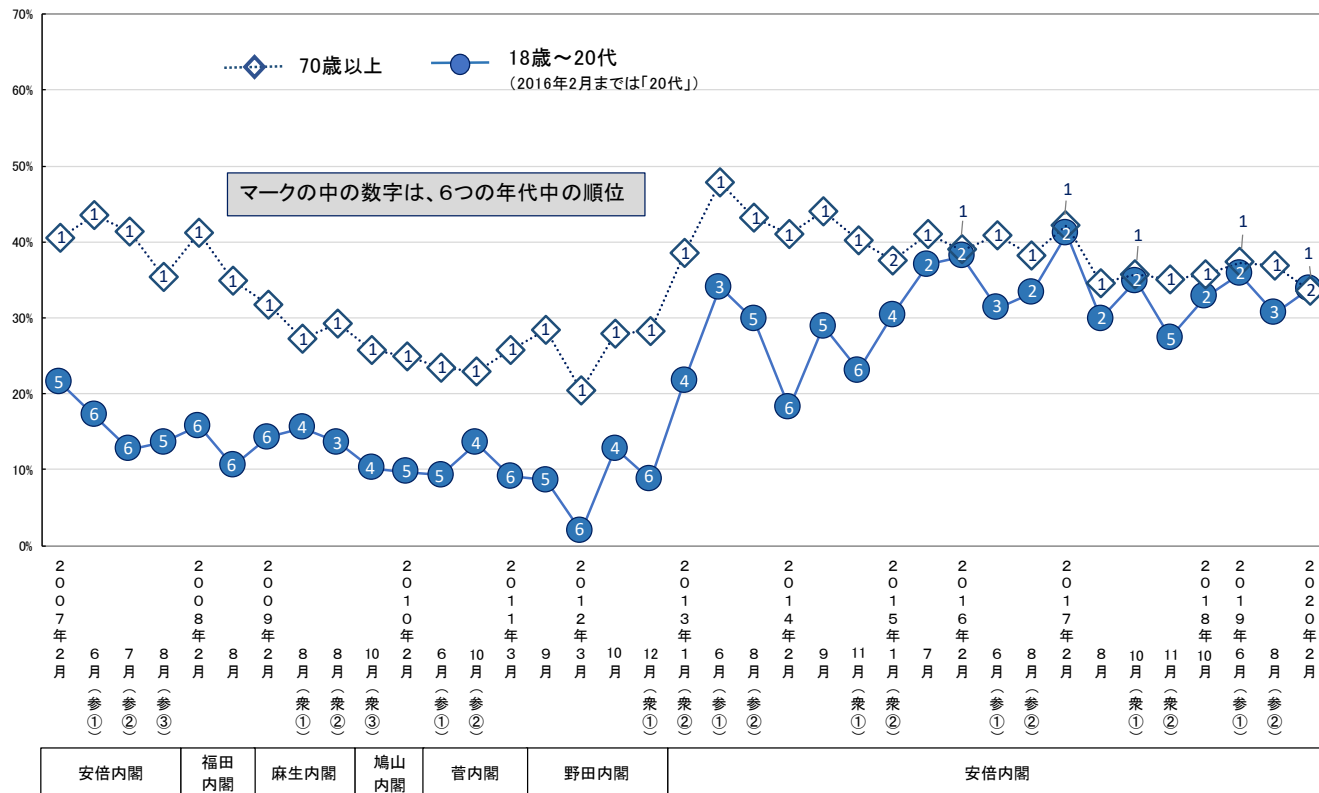
◆年代別 自民支持率、最若年世代が1位

自民党支持率を6つの年代別にみると、今回、最も高いのは18歳～20代の33.9%。70歳以上が33.6%で0.3ポイントの僅差だが、第1次安倍内閣当時の2007年2月以降、37回のモニター調査で、最若年の世代が1位となったのは初めて。15年7月調査以降、上位に浮上する傾向となっている＝折れ線グラフ。今回、30代、40代も30%台だったのに対し、50代、60代は20%台だった。

■年代別



【自民党支持率「70歳以上」と「18歳～20代」の推移】 モニター対象 定例調査と衆・参院選連続調査



※「衆①」は衆院選、「参①」は参院選のそれぞれ連続調査第1回。連続調査の第1回は公示前、最終回は定例調査を兼ね選挙後に実施している。他は定例調査。
※調査期間が月をまたいだ場合、実施の月は期間最終日の月。

「桜を見る会」問題

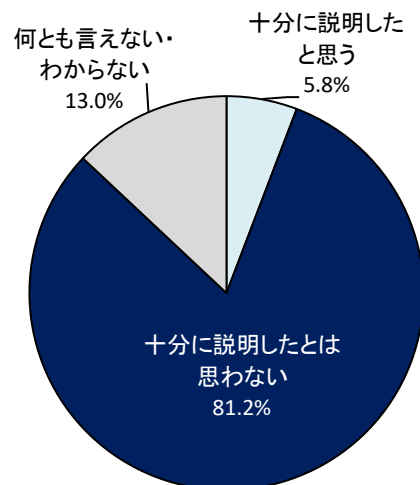
問5 あなたは、首相が主催する「桜を見る会」をめぐる一連の問題について、安倍首相は十分に説明したと思いますか、思いませんか

◆「十分に説明したとは思わない」81%

クロス集計 24 ページ

安倍首相が「十分に説明したとは思わない」が81.2%と圧倒的。年代別では、40代以上は80%台だったのに対し、18歳～20代は69.5%、30代が75.0%とやや低かった。

自民党支持層の60.6%も「十分に説明したとは思わない」と答えており、「支持する政党はない」の無党派層では90.2%に達した。



安倍政権下での改憲

問6 あなたは、安倍政権の下での憲法改正に賛成ですか、反対ですか

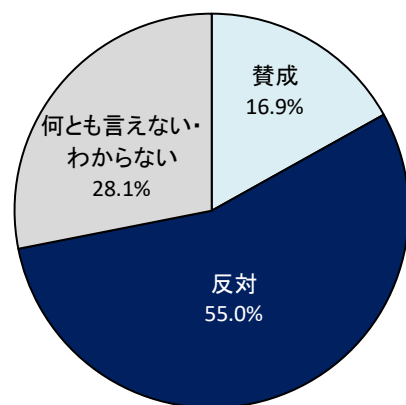
◆賛成 17% 反対 55%

クロス集計 25 ページ

安倍首相が「私の手で成し遂げていきたい」と憲法改正に意欲を示す中、安倍政権下の改憲に「賛成」は16.9%で、「反対」が55.0%に上った。

自民党支持層は、賛成 38.7%、反対 23.2%と賛成が上回るが、公明党支持層は賛成 24.0%、反対 44.0%と逆転。無党派層は反対が64.2%。衆院小選挙区別に見ると、反対は、3区で62.7%と唯一6割を超え、5区は46.7%で5割を切った。

全体では「何とも言えない・わからない」が28.1%と、判断しかねている人も少なくなかった。



中東への海自派遣

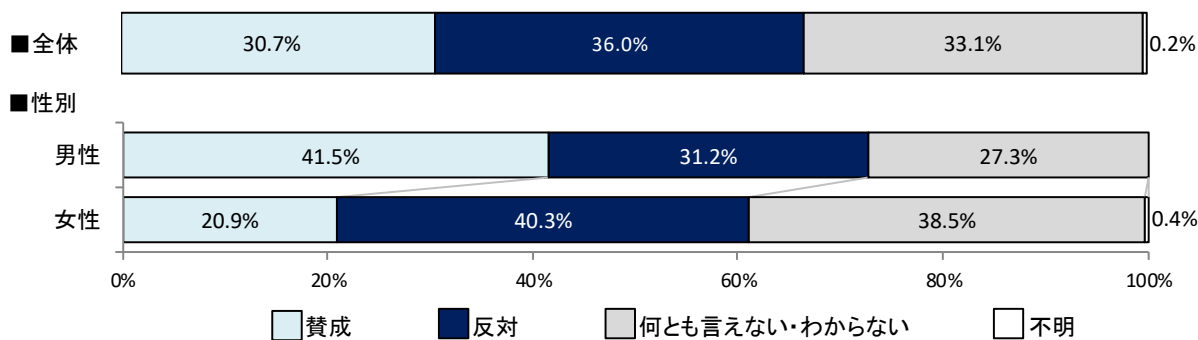
問7 米国とイランの関係が緊張する中、政府は、日本に關係する船の安全確保のためなどとして、中東への海上自衛隊の派遣を決定しました。あなたは、派遣に賛成ですか、反対ですか

◆賛成 31% 反対 36%

クロス集計 26 ページ

反対が 36.0%と最も多いが、賛成も 30.7%、何とも言えない・わからないが 33.1%と割れ、世論が定まっていない。

男女別にみると、賛成の回答は、男性が 41.5%、女性が 20.9%と約 2 倍の開きが出た。年代別では、反対の回答が 60 代、70 歳以上は 40.0%、41.8%と高め、18 歳～20 代、30 代は 30.5%、26.1%と低めだった。



日米貿易協定

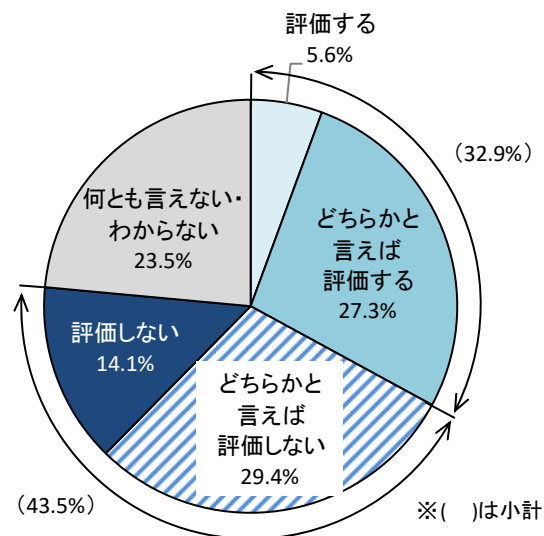
問8 あなたは、今年 1 月 1 日に発効した日米貿易協定を評価しますか、評価しませんか

◆「評価する」計 33% 「評価しない」計 44%

クロス集計 27 ページ

「評価する」は 5.6%にとどまり、「どちらかと言えば評価する」の 27.3%と合わせ 32.9%。これに対し、「評価しない」は 14.1%、「どちらかと言えば評価しない」の 29.4%、と合わせ 43.5%。

職業別にみると、農家が競争を迫られる中、「評価しない」「どちらかと言えば評価しない」との回答は、「農・林・漁業」が計 61.7%と最も高い。



75歳以上医療費2割負担

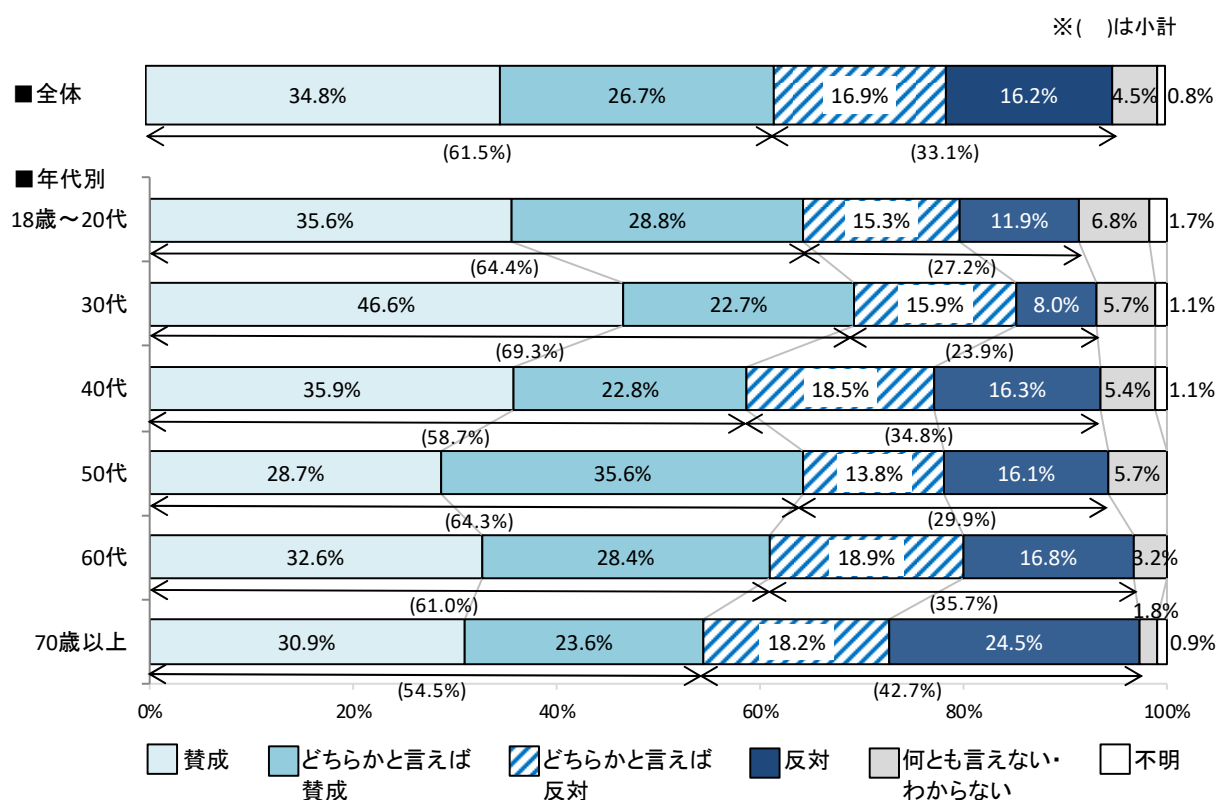
問9 75歳以上の方の医療費について伺います。政府は、原則1割の窓口負担を、一定の所得がある人は2割に引き上げることを検討しています。あなたは、この引き上げに賛成ですか、反対ですか

◆「賛成」計62% 「反対」計33%

クロス集計 28 ページ

「賛成」が34.8%で最多。「どちらかと言えば賛成」の26.7%と合わせ計61.5%。「反対」は16.2%で、「どちらかと言えば反対」の16.9%と合わせ計33.1%。賛否の差は28.4ポイント。「一定の所得がある人」との条件付きの負担増に理解を示す人が多い。

ただ、年代別にみると、70歳以上は、「賛成」「どちらかと言えば賛成」が計54.5%、「反対」「どちらかと言えば反対」が計42.7%と賛否の差は11.8ポイントに縮まる。



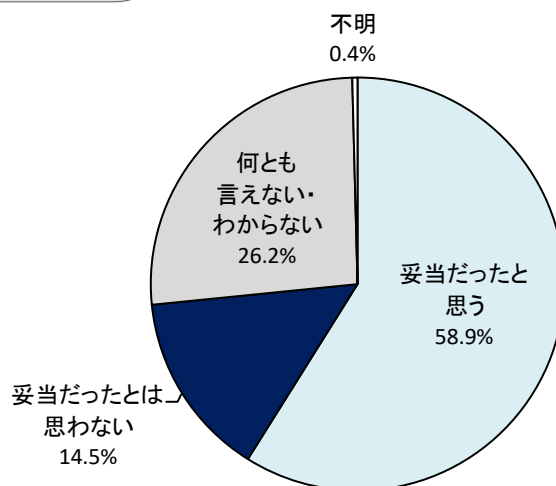
大学共通テスト

問 10 2020年度から始まる大学入学共通テストで、政府は、英語の民間試験の活用を見送り、国語と数学の記述式問題の導入も見送りました。あなたは、これらの見送りは妥当だったと思いますか、思いませんか

◆相次ぐ見送り 「妥当」 59%

クロス集計 29 ページ

相次ぐ見送りに、「妥当だったと思う」が 58.9%、「妥当だったとは思わない」は 14.5%。年代別にみると、18 歳～20 代は、「妥当だったと思う」が 44.1%と唯一 5 割に届かなかったのに対し、「妥当だったとは思わない」は 27.1%と群を抜いて高く、混乱をもたらした政府に他の年代より厳しい目を向けている。



I R 整備

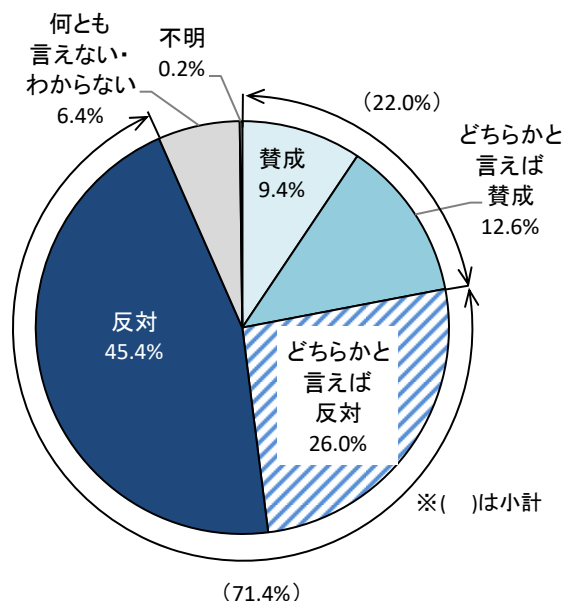
問 11 統合型リゾート施設（I R）は、カジノのほか国際会議場、劇場、ホテルを一体的に整備する巨大集客施設で、経済効果が期待される一方、ギャンブル依存症や治安・生活環境の悪化を懸念する声もあります。あなたは、I R 整備に賛成ですか、反対ですか

◆「賛成」計 22% 「反対」計 71%

クロス集計 30 ページ

「賛成」は 9.4%と 1 割に満たず、「どちらかと言えば賛成」の 12.6%と合わせ計 22.0%。これに対し、「反対」は 45.4%で最も多く、「どちらかと言えば反対」の 26.0%と合わせ計 71.4%。

男女別にみると、「反対」「どちらかと言えば反対」は、男性が計 64.1%に対し、女性は計 78.1%と 14.0 ポイント高く、女性の方が厳しく見ている。支持政党別では、自民党支持層も「反対」「どちらかと言えば反対」が計 60.0%に上った。



五輪・パラの経済効果

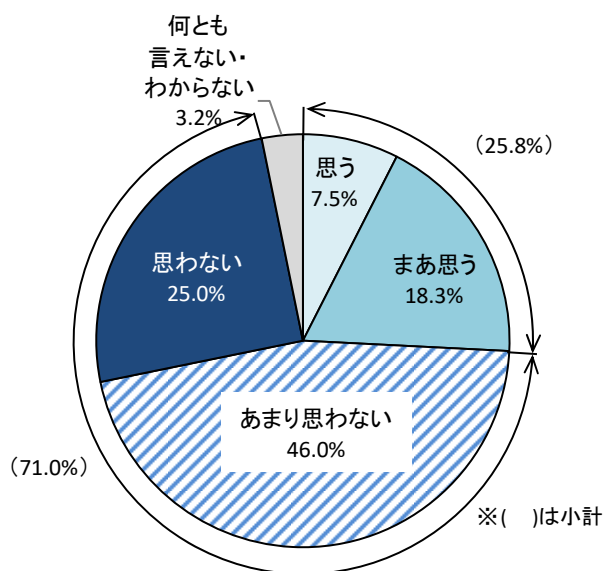
問 12 東京オリンピック・パラリンピックの開催によって、長野県に経済効果が波及すると思いますか、思いませんか

◆波及すると思わない・あまり思わない計 71%

クロス集計 31 ページ

「あまり思わない」が 46.0%と最多で、「思わない」の 25.0%と合わせ計 71.0%。「思う」7.5%、「まあ思う」18.3%と肯定的な受け止めは計 25.8%にとどまる。

「思わない」「あまり思わない」との回答は、職業別にみると、農・林・漁業が 79.5%で最も高い。暮らしぶりで見ると、「下の下」と答えた人で 84.8%と最も高い。



消費税 10%

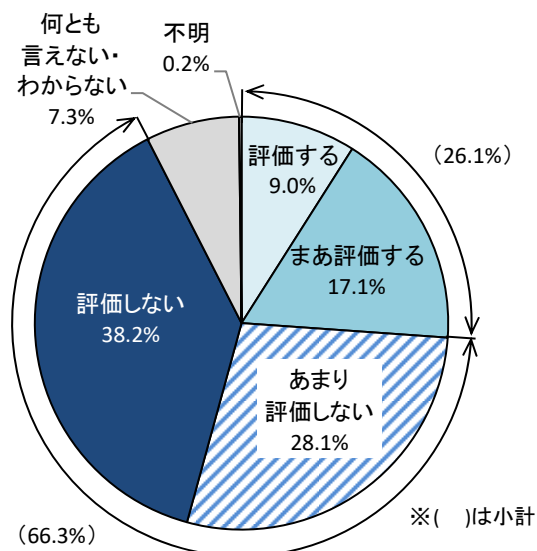
問 13 あなたは、昨年 10 月、消費税率が 8 %から 10 %に引き上げられたことを、評価しますか、評価しませんか

◆「評価する」計 26% 「評価しない」計 66%

クロス集計 32 ページ

「評価する」9.0%と「まあ評価する」17.1%が計 26.1%。これに対し、「評価しない」は 38.2%と最多で、「あまり評価しない」の 28.1%と合わせ計 66.3%。

全ての年代で、「評価しない」「あまり評価しない」との否定的回答が上回り、70 歳以上は計 70.9%と 7 割に達した。また、暮らしぶりで見ると、「下の下」と答えた人では計 81.8%と最も高かった。



キャッシュレス決済

問 14 消費税率の引き上げに伴い、クレジットカードや電子マネーなどによるキャッシュレス決済の利用に対し、店によっては、ポイントが還元される事業が始まりました。このことで、あなたのキャッシュレス決済の利用に、変化はありましたか

◆「変わらない」最多 41%

クロス集計 33 ページ

「変わらない」が 40.9%で最も多い。次いで「利用したことがない」が 29.6%。一方、「利用が増えた」は 24.7%、「初めて利用した」が 4.5%で、両方を合わせても 29.2%。消費税率の 10%への引き上げに伴うポイント還元で、キャッシュレス決済の利用が一気に広がったとは言えないようだ。

